

経営比較分析表（令和2年度決算）

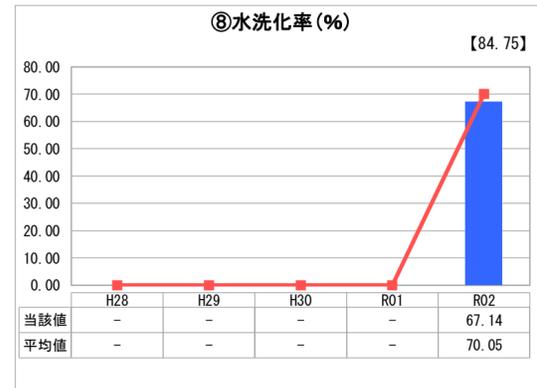
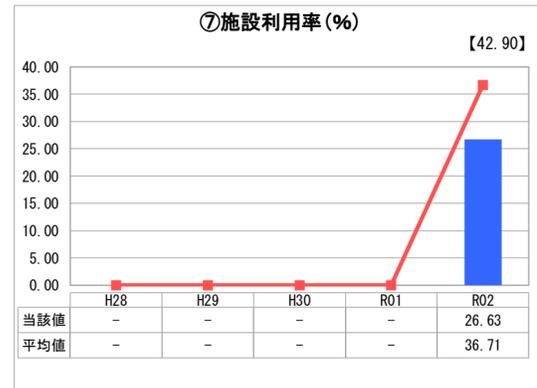
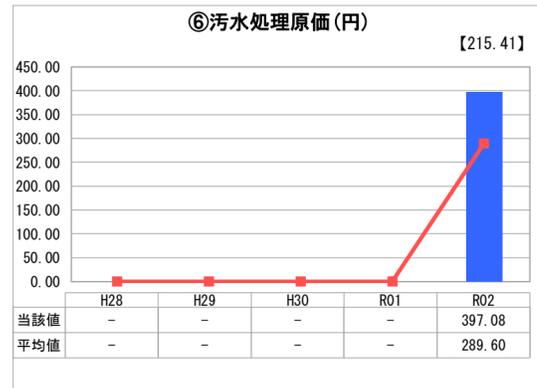
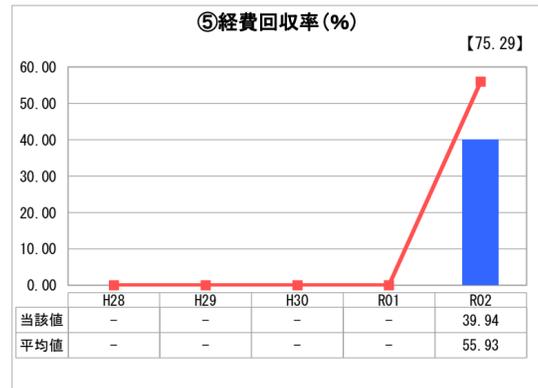
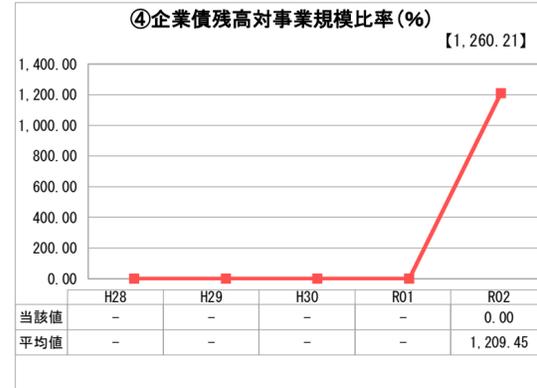
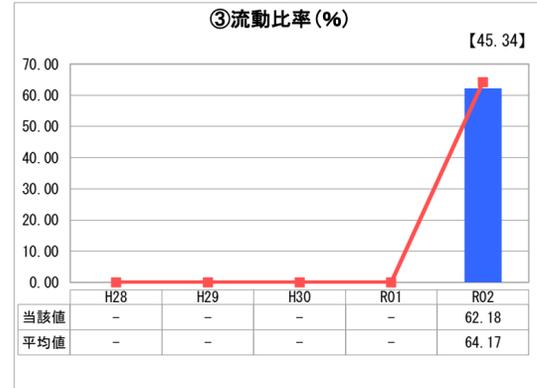
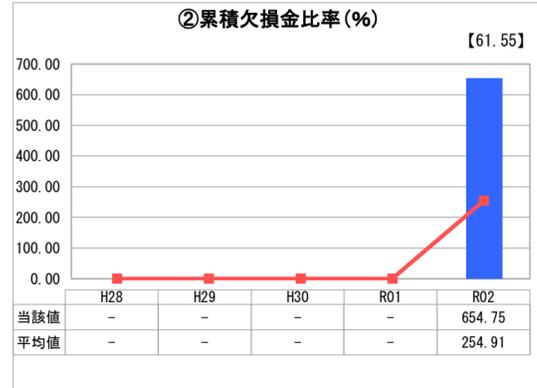
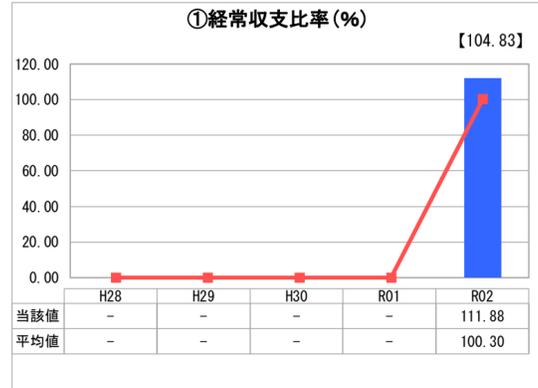
長崎県 西海市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	55.47	12.19	98.60	3,257

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,998	241.60	111.75
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,271	1.24	2,637.90

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

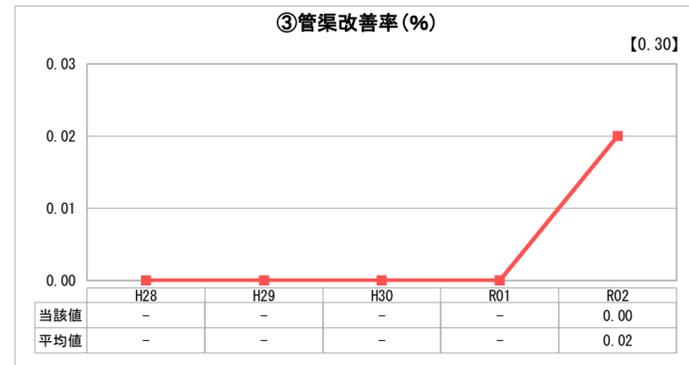
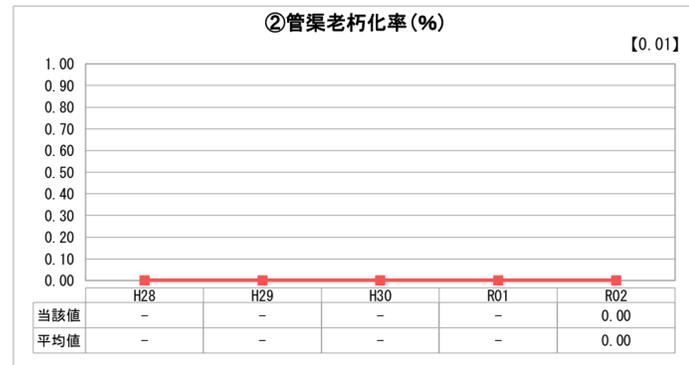
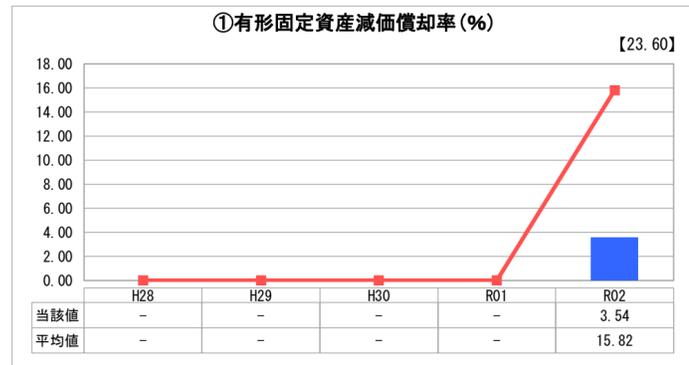
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率(111.88%)は類似団体平均値よりもやや高い。単年度の収支は黒字になっています。
 ② 累積欠損金比率(654.75%)は類似団体平均値よりも高い。
 ③ 流動比率(62.18%)は類似団体平均値と同程度です。1年以内に支払うべき債務に対して現金が不足しています。
 ④ 企業債残高対事業規模比率(1,209.45%)は類似団体平均値よりも高い。
 ⑤ 経費回収率(39.94%)は類似団体平均値よりも低い。汚水処理費が下水道使用料で賄われていないのが現状です。
 ⑥ 汚水処理原価(397.08円)は類似団体平均値よりも高い。
 ⑦ 施設利用率(26.63%)と⑧水洗化率(67.14%)は類似団体平均値よりも低い。本事業は平成21年3月に供用開始し、現在も管渠整備を進めています。今後の接続率の上昇に伴って施設利用率も上昇することが見込まれます。

2. 老朽化の状況について

本事業は令和2年度から法適用し、①有形固定資産減価償却率(3.54%)は類似団体平均値よりも低い。
 法定耐用年数を経過した管渠はなく、更新の必要性は低い。供用開始から11年が経過し、機械・電気設備等は故障箇所を修繕するといった事後的な対応を行っています。今後、各資産の更新時期の到来により多額の更新費用が必要となります。

2. 老朽化の状況



全体総括

本事業は令和8年度概成に向けて計画区域内の管渠整備を進めています。単年度の収支は黒字になっていますが、一般会計からの多額の繰入金を受けており、経営の健全性・効率性には課題があります。経営改善に向けた取組みとして、維持管理費の削減や接続率の向上、施設の長寿命化に引き続き取り組むとともに、下水道使用料の改定や、施設の処理能力や耐用年数等を踏まえ、近隣施設との統廃合についても検討する必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。